

平成 28 年度

山形県議会広報・広聴委員会報告書

平成 29 年 3 月 7 日

山形県議会広報・広聴委員会

目 次

1	協議の経過及び結果について（概要）	1
2	平成28年度議会広報・広聴事業実績	4
3	平成29年度議会広報・広聴事業計画	8
4	山形県議会広報・広聴委員会名簿	10

(参考資料)

○	平成28年度議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について	11
○	平成28年度生徒学生と県議会議員との意見交換会 の実施状況について	16

1 協議の経過及び結果について（概要）

山形県議会広報・広聴委員会は、県議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の声を広く聴き、一層、県民に県議会を身近に感じてもらうため、7回の委員会を開催し、広報誌等の編集内容や「議場演奏会と議会見学会」の開催内容、テレビ広報番組の企画・構成、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会議会」の実施方法等について協議を重ねながら、以下のとおり広報・広聴事業を実施したほか、来年度の広報・広聴事業の方針等を検討した。

① 「県議会だより」の発行について

全戸配布の広報誌「県民のあゆみ」との合冊編集としている「県議会だより」については、議会活動の基本的な情報を県民に伝えることを念頭に、年6回発行した。（約40万部／回）

② 「県議会やまがた」の発行について

定例会の質疑と答弁の概要など議会活動の詳細な情報を提供する「県議会やまがた」については、県民に議会に対する理解を深めてもらうことを念頭に、年4回発行した。（3,500部／回）

また、配付先について、今年度から公的機関やNPO等のほか、大学・短大等にも拡充した。

③ 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行について

今年度の新たな取組みである若者向け広報紙「県議会ナビ」については、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、有権者となりうる高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じて興味を持ってもらうことを念頭に、10月に発行し県内の高校生等に配布した。

（4万部）

④ 「議場演奏会と議会見学会」の実施について

今年度の新たな取り組みである「議場演奏会と議会見学会」については、県民に県議会を身近に感じてもらう契機となることを念頭に、9月に、議場の見学や予算特別委員会の傍聴、県議会の仕組みや役割についての説明と併せて、議場における山形交響楽団による演奏会を催した。

なお、参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、9割の方がまたの参加を希望している状況であった。

⑤ 「県議会ホームページ」について

議会活動の詳細な情報を県民に伝えるため、「県議会ホームページ」において、定例会や常任委員会等の概要、会議録、議会トピックス等を掲載したほか、議会中継を配信した。

⑥ 「県議会テレビ広報番組」の制作について

県広報番組の枠を活用して、県議会の活動状況を広く県民に発信するため、第1回目「県議会にいてみよう！」（平成28年10月9日放送）と第2回目「もっと知りたい！県議会」（平成29年2月19日放送）を制作し放送した。

⑦ その他の広報

上記以外の広報として、県議会を広く知ってもらうため、県議会議事堂の見学に訪れる県民への周知を目的に、一般県民向けの「県議会のしおり」や小学生向けのしおりを作成・配布したほか、視覚障がいのある方が県議会議事堂を訪れた際に活用するため、点字版の「県議会のしおり」を作成した。

また、12月定例会で議員発議により制定した「山形県誰もががんに知り、県民みんなでがんの克服を目指す条例」を普及啓発するため、パンフレットを作成した。

⑧ 「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の開催について

平成27年度の試行を踏まえ、今年度から本格実施した「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」については、若者に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを念頭に、15の高等学校・大学等で開催した。

なお、出席した議員数は延べ74人、参加した生徒・学生数は594人であった。意見交換会では、県に対する要望も出され、その後実現に向けた動きが生まれたものもある。

以上、多岐にわたり県議会の活動に関する広報及び広聴の充実に努め、特に、公職選挙法の改正による選挙権年齢の引下げを踏まえ、高校生などの若者に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るために、新たな取組みを展開してきたところである。

今後とも、「身近な県議会」を目指し、県民に対して積極的に議会活動に関する情報を提供していくとともに、県民の意思を把握していくため、生徒・学生の文化活動の発表の場の提供なども含め、広い角度からさらに調査・検討を深めていくことを希望するものである。

2 平成 28 年度議会広報・広聴事業実績

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行

県民に議会活動の概要を伝えるため、年 6 回発行し、県広報誌「県民のあゆみ」に合冊して全戸配布（約40万部）した。

号	発行日	主な掲載内容
第54号	平成28年 5 月 1 日	平成28年 2 月定例会の概要
第55号	平成28年 7 月 1 日	常任委員会の活動状況
第56号	平成28年 9 月 1 日	平成28年 6 月定例会の概要
第57号	平成28年11月 1 日	平成28年 9 月定例会の概要
第58号	平成29年 1 月 1 日	決算特別委員会及び地域議員協議会の概要
第59号	平成29年 3 月 1 日	平成28年12月定例会の概要

(2) 「県議会やまがた」の発行

県民に議会活動を詳細に伝えるため、定例会ごとに年 4 回・各3,500部発行し、市町村、県内主要団体、NPO法人、大学・短大等へ配布した。

号	発行月	主な掲載内容
第13号	平成28年 5 月	平成28年 2 月定例会の概要
第14号	平成28年 8 月	平成28年 6 月定例会の概要
第15号	平成28年11月	平成28年 9 月定例会の概要
第16号	平成29年 2 月	平成28年12月定例会の概要

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえ、有権者となり得る高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する興味を持ってもらうことを目的として、若者向け広報紙「県議会ナビ」を40,000部発行し、県内の高等学校及び特別支援学校高等部の全生徒・教員に配付したほか、大学・短大等へ配布した。

発行月	主な掲載内容
平成28年 10月	県議会の仕組みと仕事、選挙区と議員定数、選挙権年齢18歳以上への引下げ、選挙運動Q&A、生徒・学生との意見交換会の開催

(4) パンフレットの作成・配布

①「県議会のしおり」の作成・配布

議会の役割、活動内容の周知を図るため、「県議会のしおり」を作成し、議事堂見学者等に配布した。（小学生の見学者には、小学生向けのしおりを配布。）

また、点字版「県議会のしおり」を100部作成し、山形盲学校生徒との意見交換会において配付したほか、今後、視覚障がいのある方向けに活用していく。

② 政策条例のパンフレットの作成

平成28年12月定例会で可決し、12月27日に施行された「山形県誰もががんを知り、県民みんなでがんの克服を目指す条例」を普及啓発するため、パンフレットを作成した。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催した。

参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、9割の方がまたの参加を希望している状況であった。

(開催概要)

- ・開催日 平成28年9月27日
- ・参加人数 120人
- ・実施内容 議場見学、予算特別委員会の傍聴、県議会の概要説明、議場における山形交響楽団による弦楽合奏の鑑賞

3 インターネット

(1) 県議会ホームページの運営

定例会・各常任委員会・3特別委員会の概要、議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容など、議会の動きをわかりやすい内容でタイムリーに掲載した。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」「予算特別委員会」「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信した。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

会議録検索システムに「本会議」「予算特別委員会」「決算特別委員会」の会議録を登録し、県議会ホームページ上で、会議録の検索、閲覧、印刷、ダウンロードをできるようにした。

(4) ツイッター、フェイスブックの活用

山形県公式ツイッター、フェイスブックを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」などのトピックスの紹介を行った。

4 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

(1) YBC「やまがたサンデー5」 15分番組×2回

第1回	県議会にいてみよう！	平成28年10月9日 17:15～17:30 放映
第2回	もっと知りたい！県議会	平成29年2月19日 17:15～17:30 放映

(2) 県政広報番組を活用した定例会の告知

県政広報番組の告知枠を利用し、各定例会の日程と傍聴案内を行った。

5 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、定例会・臨時会の本会議、予算・決算特別委員会の中継を実施した。

6 報道機関（パブリシティ）の活用

生徒・学生との意見交換会、議場演奏会と議会見学会、地域議員協議会の実施等について、県庁記者クラブへ情報提供した。

7 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

平成27年6月の公職選挙法改正による選挙権年齢の引下げを、日本の将来のあり方について生徒・学生と一緒に議論し、課題を解決していくための大きな転換点ととらえ、生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的として、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催した。（全15回）

出席した議員数は、正副議長、広報・広聴委員を中心に1校につき5人程度で延べ74人であり、参加した生徒・学生数は、594人であった。

意見交換会では、若者の政治参加だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても意見交換が行われた。また、県に対する要望も出され、その後実現に向けた動きが生まれたものもある。

（開催概要）

開催日	学校名（所在地）	出席議員数	参加者数
平成28年5月10日	日本大学山形高等学校（山形市）※	5人	26人
平成28年5月26日	米沢商業高等学校（米沢市）	5人	21人
平成28年6月14日	山形市立商業高等学校（山形市）※	5人	14人
平成28年7月13日	山本学園高等学校（山形市）※	5人	10人
平成28年7月21日	新庄神室産業高等学校（新庄市）	5人	18人
平成28年9月6日	米沢東高等学校（米沢市）	5人	15人
平成28年9月9日	山形盲学校（山形市）※	5人	5人
平成28年9月13日	新庄南高等学校（新庄市）	5人	150人
平成28年9月28日	専門学校山形V.カレッジ（山形市）※	5人	9人
平成28年10月17日	鶴岡東高等学校（鶴岡市）	5人	18人
平成28年10月25日	保健医療大学（山形市）	5人	19人
平成28年10月27日	山形南高等学校（山形市）※	5人	18人
平成28年11月4日	東北公益文科大学（酒田市）	4人	13人
平成28年11月15日	九里学園高等学校（米沢市）	5人	149人
平成28年11月28日	農林大学校（新庄市）	5人	109人

※印の学校は意見交換会を議会棟で開催し、それ以外は各学校で開催した。

(参考) 常任委員会等における関係団体との意見交換会等の状況

常任委員会の県内現地調査等において関係団体との意見交換等を実施した。

常任・特別委員会名	意見交換等の相手方	開催日
総務常任委員会	地域おこし協力隊	5月24日
文教公安常任委員会	県教育委員会委員	8月22日
	防犯ボランティア	10月31日
	酒田地区交通安全関係団体	11月2日
厚生環境常任委員会	置賜地域保育関係者	7月28日
	天童市認証保育所関係者	9月30日
	各県立病院長	10月13日
	山形県小規模授産施設・共同作業所連絡協議会	11月9日
	一般社団法人山形県浄化槽工業協会	12月19日
農林水産常任委員会	山形牛枝肉市場流通振興協議会	7月20日
	山形県養豚協会	
	飛島の漁業関係者	10月26日
商工労働観光常任委員会	山形リノベーションまちづくり推進協議会	5月19日
建設常任委員会	NPO法人まちづくり山形	11月9日
子ども支援対策特別委員会	山形大学人文学部法経政策学科 准教授 戸室 健作 氏	9月26日
安全・安心対策特別委員会	東北大学災害科学国際研究所 副所長 奥村 誠 氏	6月21日
産業振興対策特別委員会	山形大学人文学部法経政策学科 准教授 吉原 元子 氏	6月21日
	公益財団法人山形県企業振興公社 地域コーディネーター	10月4日

3 平成 29 年度議会広報・広聴事業計画

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行（県広報誌「県民のあゆみ」との合冊）

項目	「県議会だより」	「県民のあゆみ」
発行回数	年 6 回掲載 5月号〔2月定例会分〕 7月号〔企画記事〕 9月号〔6月定例会分〕 11月号〔9月定例会分〕 1月号〔企画記事〕 3月号〔12月定例会分〕	年 6 回 隔月奇数月
ページ数	各号見開き 2 ページ（1月号は 1 ページ）	各号 16 ページ
発行部数	約 40 万部（全戸配布）	同左

(2) 「県議会やまがた」の発行

項目	「県議会やまがた」
発行回数	年 4 回（4 定例会毎）
ページ数	各号タブロイド版 4 ページ
発行部数	3.5 千部（市町村、県内主要団体、大学・短大等へ配布）

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

項目	若者向け広報紙「県議会ナビ」
発行回数	年 1 回
ページ数	A 4 版見開き 4 ページ
発行部数	4 万部（県内高等学校、特別支援学校高等部（全生徒、教員）、大学・短大等へ配布）

(4) パンフレットの作成・配布

①「県議会のしおり」の作成・配布

- ・議会についての理解や関心を高めるため、「県議会のしおり」を作成し、議事堂見学者等に配布する。
- ・小学生向けの「県議会のしおり」を作成、配布する。

②政策条例のパンフレットの作成・配布【条例制定ごと】

政策条例の普及・啓発のためのパンフレットを作成、配布する。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催する。

3 インターネット

(1) 山形県議会ホームページの運営

日々の議会情報の発信

議員の紹介、定例会・各常任委員会・3特別委員会の概要、議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容、議会トピックスなど、詳細な議会情報を広く県民に発信する。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、本会議、予算特別委員会、決算特別委員会の生中継及び録画中継を配信する。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供 【平成4年分から】

本会議・予算・決算特別委員会の会議録全文については、検索システムにデータを格納し、ホームページから閲覧できるようにする。

(4) フェイスブック、ツイッターの活用

山形県公式フェイスブック、ツイッターを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内を行うほか、県議会ホームページの「トピックス」のコーナーの情報等をフェイスブック、ツイッターからも発信する。

4 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

県政広報番組枠を活用し、議会広報番組の放映を実施する。

(1) テレビ 県政広報テレビ15分番組による議会活動の紹介

同番組内での各定例会の会期告知等

(2) ラジオ 「地域議員協議会」開催の告知等

5 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、本会議、予算・決算特別委員会の実況中継を実施する。

6 報道機関（パブリシティ）、各種広報媒体の活用

報道各社に対し、議会活動の積極的な情報提供を行うほか、県広報室所管の広報媒体の活用や市町村等の広報媒体を活用した広報に努める。

7 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、引き続き「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催する。

山形県議会広報・広聴委員会委員名簿

委員長 島津良平

副委員長 青木彰榮

委員 山科朝則

委員 青柳安展

委員 澁間佳寿美

委員 佐藤 聡

委員 能登淳一

委員 矢吹栄修

参 考 资 料

平成 28 年度 議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について

- ◆ 日 時 平成 28 年 9 月 27 日 (火) 午後 1 時～2 時 45 分
- ◆ 会 場 山形県議会棟 (本会議場、予算特別委員会室、第 1 委員会室)
- ◆ 参加者 120 人 (アンケート回答者数 112 人)

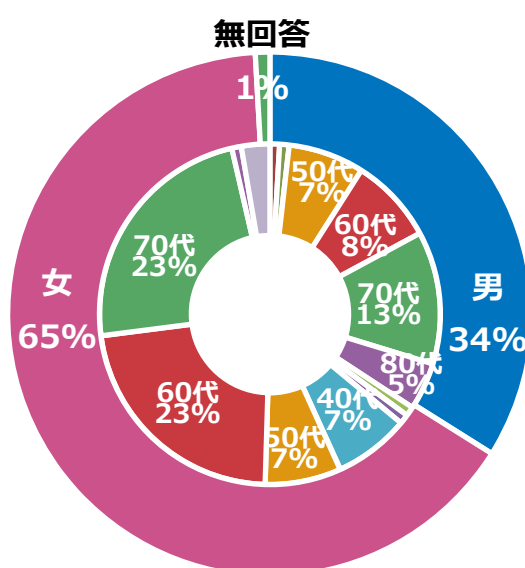
1 住まい

8 割超が村山地域から参加
(山形市が最多で 65%)

市町村名	参加者	
	(人)	(%)
村山地域	94	83.9%
山形市	73	
寒河江市	11	
天童市	8	
上山市	1	
村山市	1	
最上地域	4	3.6%
最上町	3	
舟形町	1	
置賜地域	11	9.8%
米沢市	9	
南陽市	2	
庄内地域	3	2.7%
鶴岡市	2	
酒田市	1	
合 計	112	

2 性別・年齢

男女比は約 1 : 2
70 代 (4 割) が最多、次いで 60 代 (3 割)



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	合 計
男			1	1	8	9	14	5		38
女	1		1	8	8	25	26	1	3	73
無回答							1			1
合 計	1	0	2	9	16	34	41	6	3	112

3 何で知ったか (複数回答)

	(人)
新聞	28
ラジオ	0
HP	7
チラシ	12
知人・会社・団体等の紹介	63
その他	3

新聞記事の掲載や、市町村・団体等へのチラシの送付が効果的だったが、ラジオは効果がなかった

<チラシを見た場所>

公民館(4)、文翔館、県庁、職場

4 参加した理由（複数回答）

7割超が県議会に興味があって参加

	(人)	(%)
県議会と山響両方に興味ある	49	44.1%
県議会に興味ある	34	30.6%
山響の演奏聴きたい	24	21.6%
その他	4	3.6%
合計	111	100.0%

<その他>

随行、議員の仕事ぶりを見に来た
等

5 参加しての感想

(1) 議会の概要説明

9割超が時間を丁度よいと感じ、8割が満足

時間	(人)	(%)
長い	4	3.7%
丁度よい	101	92.7%
短い	4	3.7%
合計	109	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	14	15.6%
満足	56	62.2%
普通	19	21.1%
やや不満	1	1.1%
不満	0	0.0%
合計	90	100.0%

(2) 議場の見学

9割超が時間を丁度よいと感じ、8割超が満足

時間	(人)	(%)
長い	1	0.9%
丁度よい	99	92.5%
短い	7	6.5%
合計	107	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	26	28.0%
満足	50	53.8%
普通	16	17.2%
やや不満	1	1.1%
不満	0	0.0%
合計	93	100.0%

(3) 予算特別委員会の傍聴

時間を丁度よいと感じた人と短いと感じた人が半々
短いと感じた人の満足度が低かったため、全体として満足した人は6割に留まる

時間	(人)	(%)
長い	0	0.0%
丁度よい	53	49.1%
短い	55	50.9%
合計	108	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	14	15.4%
満足	40	44.0%
普通	22	24.2%
やや不満	12	13.2%
不満	3	3.3%
合計	91	100.0%

(4) 議場演奏会

7割が時間を丁度よいと感じ、9割超が満足

時間	(人)	(%)
長い	1	1.0%
丁度よい	64	66.0%
短い	32	33.0%
合計	97	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	47	48.5%
満足	44	45.4%
普通	2	2.1%
やや不満	4	4.1%
不満	0	0.0%
合計	97	100.0%

6 また参加したいか

9割が、またの参加を希望

	(人)	(%)
参加したい	92	86.8%
演奏会のみ参加したい	10	9.4%
参加したくない	4	3.8%
合計	106	100.0%

「参加したくない」と回答した4人のうち、3人は「議会だけじっくり傍聴したい」「常任委員会を聴いてみたい」「個人で傍聴したい(演奏会は不要)」という前向きな理由

7 議場演奏会と議会見学会の感想や県議会に望むこと（自由記述）

（1）感想（主なもの）

① 良い企画だった、勉強になった、満足した 25人

- ・議会が身近になったように思います。ありがとうございました。
- ・このようなコラボ企画はグッドアイデアだと思います。
- ・県民の暮らしについて色々話し合っている議場を見る機会があったらと日頃思っていました。今日はとてもいい機会をいただき、ありがとうございました。
- ・演奏会は、付属・オプションと思っていましたが良かった。初めて県庁の中に入りました。以前から興味があったから良かった。

② 今後も実施してほしい、また参加したい 13人

- ・私の知るところ本催しは初めてのことと思う。これからも年1回位催してはいかがですか。
- ・山形県に60年間住まい、初めて入った。このような催しを多くしてほしい。
- ・この企画すばらしい！！是非継続事業に。
- ・山形県民に開かれた県議会の在り方、県民としての誇りを感じとても感動いたしました。また機会があれば是非参加したい。ありがとうございました。

③ その他

<全般>

- ・もっと早くにこういう機会がほしかったです。もっともっとPRしてください。そうすることで選挙への関心高くなるはずです。（PRについての同意見 3人）
- ・午後1時開会はお昼をしてすぐできついです。1時30分からお願いできたらと思います。
- ・待ち時間が長く感じました。
- ・各場所に係の方がいて案内して下さったのは良かったと思います。
- ・議員とのふれあいもあった方がいい。（一言二言の会話でも）

<議会見学会>

- ・楽しい見学ができました。予算特別委員会の傍聴が短いので、もう少し長く参加したかった。（予算特別委員会の傍聴についての同意見 6人）
- ・予算特別委員会はとても興味深く、もっと議会の事や今後個人的にも傍聴に来てみたいと思いました。（傍聴に来たいとの同意見 4人）
- ・説明がていねいで良かった。
- ・議長席に座れて良かった。

<議場演奏会>

- ・もう少し聞きたかった。（同意見 3人）
- ・演奏者が10名は少ない。今後はせめて20～30名にしてほしい。
- ・なぜ演奏会とセットになったのか疑問に思いました。不要かな。
- ・せっかくの演奏会、進行のスタンドマイクの雑音が残念でした。

(2) 県議会に望むこと（主なもの）

① 開かれた県議会への期待 3人

- ・議会傍聴を一般県民にもっとわかり易いように広めるべきだと思います。18歳選挙権に伴って、高校・大学生も気軽に足を運べるような啓蒙がもっと必要だと思います。実施しているのは知っていますが…。まだまだ敷居が高いのでは？

② 議員定数の減 2人

- ・議員定数をもう少し減らすべきだと思います。

③ 政務活動費について 3人

- ・今話題になっている政務活動費について、月いくらなのか知りたい。
- ・政務活動費について全国的に問題となっておりますが、第2の阿部先生が出ないように厳しくチェックして頂きたいと思います。

④ 県議会議員に望むこと

- ・県の事は十分に話し合って、皆さんで良い県をつくってもらえればと思います。
- ・選挙民にお願いして議員になったわけですのでお願いのみでなく、県民の期待に十分応えられることをしてください。くれぐれも政務活動費の使い方等金銭にかかわる問題等起こす事のないように！
- ・県の発展のために頑張ってください。大切な税金は、大事に使ってください。
- ・せっかくの立派な議事堂ですので、丁寧な議論とわかりやすい広報をし、庶民のための政治・行政運営を期待します。
- ・議員は、常に自分の立場を考えて行動してほしい。常に勉強、知識を身につけてよりよい山形を築いて行ってほしい。
- ・女性議員が少なすぎる。政界に出てくる人を育ててほしい。先生と呼ばれて喜んでいるような古くさい議員は革新してほしい。

⑤ 県政に望むこと

- ・観光立県山形の施策を具体的に進めていただきたい。
- ・知事の答弁ちょっとさびしい！道路整備の全国並！
- ・近年人々の正しい心が見失われているように感じられます。未来を負う山形県人に幼稚園から小学生、高校生まで正しい心の教育をお願いいたします。小学校の道徳の時間が自主学習となっていませんか？
- ・地方創生のために、県民のために、よりよい未来に結びつく子ども達に予算を使ってほしい。
- ・次々と新しい箱物をつくるばかりでなく、既施設の利用を計画してはどうか。

平成 28 年度 生徒・学生と県議会議員との意見交換会 の実施状況について

I 総括

1 実施校

生徒・学生と県議会議員との意見交換会は、27年度の試行を踏まえて、28年度から本格実施しているところであり、28年度は15校で実施した。議員は正副議長、広報・広聴委員を中心に各校4～5人が出席し、延べ人数で74人、実人数では43議員中39人が意見交換会に出席した。

学校名	開催月日	出席議員数	参加者数	開催場所
日本大学山形高等学校	5月10日（火）	5人	26人	議会棟
県立米沢商業高等学校	5月26日（木）	5人	21人	学校（米沢市）
山形市立商業高等学校	6月14日（火）	5人	14人	議会棟
山本学園高等学校	7月13日（水）	5人	10人	議会棟
県立新庄神室産業高等学校	7月21日（木）	5人	18人	学校（新庄市）
県立米沢東高等学校	9月6日（火）	5人	15人	学校（米沢市）
県立山形盲学校	9月9日（金）	5人	5人	議会棟
県立新庄南高等学校	9月13日（火）	5人	150人	学校（新庄市）
専門学校山形V. カレッジ	9月28日（水）	5人	9人	議会棟
鶴岡東高等学校	10月17日（月）	5人	18人	学校（鶴岡市）
県立保健医療大学	10月25日（火）	5人	19人	学校（山形市）
県立山形南高等学校	10月27日（木）	5人	18人	議会棟
東北公益文科大学	11月4日（金）	4人	13人	学校（酒田市）
九里学園高等学校	11月15日（火）	5人	149人	学校（米沢市）
県立農林大学校	11月28日（月）	5人	109人	学校（新庄市）
15校		74人	594人	
◆校種別内訳	高校10校 特別支援学校1校 大学2校 専修学校等2校			
◆地域別内訳	村山7校 最上3校 置賜3校 庄内2校			
◆開催場所別内訳	議会棟6校 学校9校			

2 意見交換の概要

意見交換会のテーマである「若者の政治参加」だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても、意見交換がなされている。また、県に対する要望も出され、その後実現に向けた動きが生まれたものもある。

【意見交換の項目（主なもの）】

（１）若者の政治参加について

- ① 若者の投票率を上げるための県の取組みについて
- ② 若者の投票が政治に与える影響について
- ③ さらに選挙権年齢の引下げについて など

（２）議会・議員に関することについて

- ① 県議会議員になる方法について
- ② 県議会議員になったきっかけ、議員になる以前に就いていた職業について
- ③ 県議会議員になってよかったことについて など

（３）県の施策に関することについて

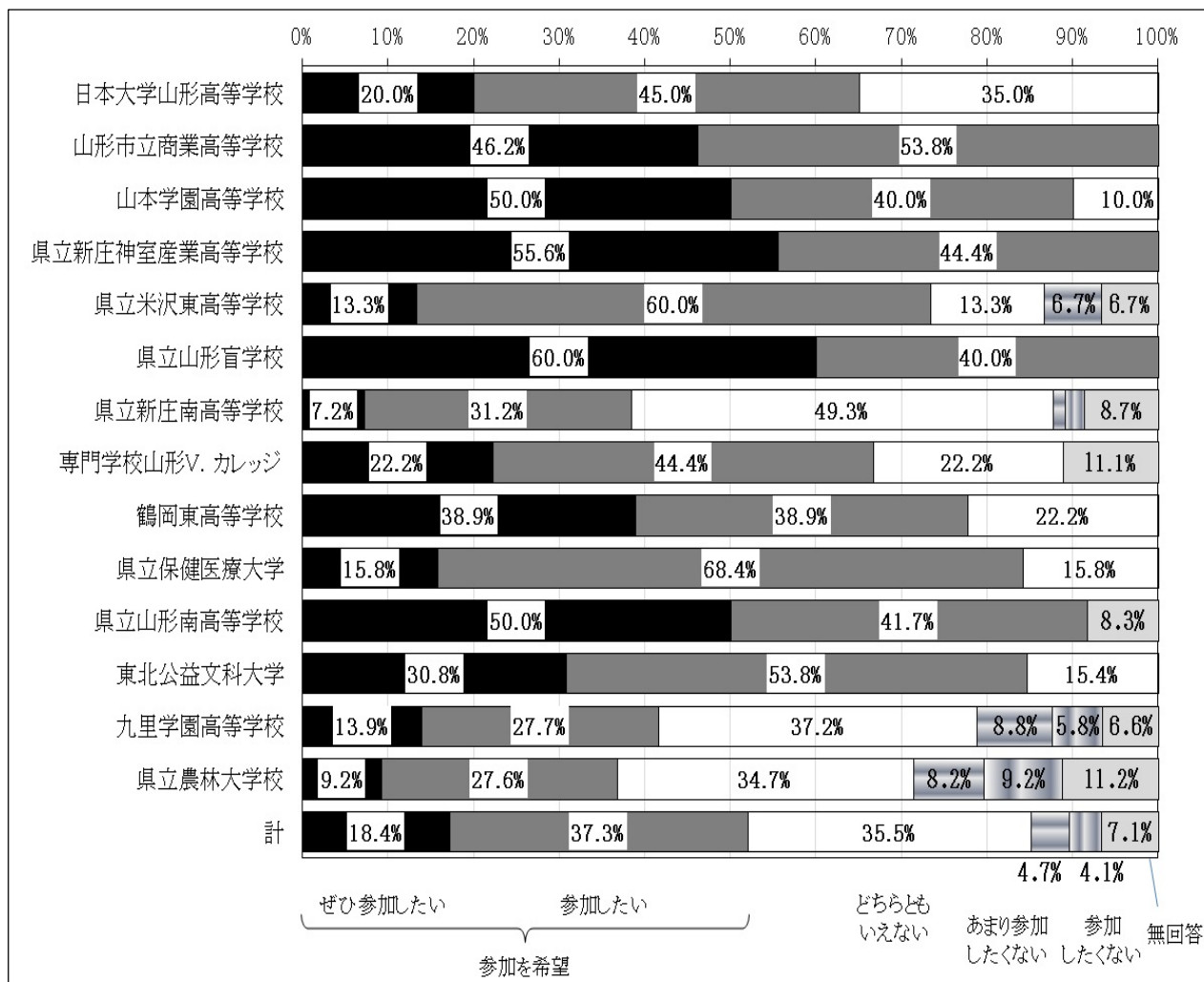
- ① 奥羽・羽越新幹線の実現について
- ② TPP協定締結が本県農業に与える影響について
- ③ 県内の医療提供体制の地域格差と地域医療構想について など

（４）県に対する要望について

- ① 最上地域への高等教育機関の設立について
- ② 蔵王駅から山形聾学校寄宿舎までの通学路への点字ブロック設置について
- ③ つや姫のPRイベント等の開催について など

(2) 今後の参加希望について

「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合わせた、今後も参加を希望する生徒は、15校の計で半数を超えており、上記(1)と同様、意見交換会については概ね好意的といえる。学校別にみると100名以上の大人数で行った学校よりも、少人数で行った学校の方がより好意的であった。



(注1) この設問は、「ぜひ参加したい」、「参加したい」、「どちらともいえない」、「あまり参加したくない」、「参加したくない」の5つから選択するもの。

(注2) 県立米沢商業高等学校については、この設問のアンケートを行っていない。

(3) 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案

意見交換会を拡充する意見のほか、テレビやインターネットを活用した情報提供が必要、学校の授業での学習も大切、若者向けの政策を取り入れるべきなど、若者世代ならではの意見が見られた。

一方、意見交換会について、「学校全体で行ったらよい」という意見や、「議員の方から学校に出向いて行くとよい」とする意見もあり、引き続き、実施方法について学校側と十分な事前調整を図る必要がある。

【提案（主なもの）】

① 意見交換会の拡充について

- ・ 議員との意見交換の機会を増やしたり、意見交換会を学校全体で行ったらよい。
- ・ 議員の方から学校に出向いて意見交換会を行うとよい。
- ・ 今回のような機会を増やし、テーマ毎の意見交換がいいと思う。 など

② マスコミやインターネットを活用した情報提供について

- ・ テレビや新聞などで大きく取り上げるとよい。
- ・ いつどんな活動をしているのかわかるように、インターネットやSNSを使ってたくさん発信する。
- ・ ニュースが一番情報を得やすく、多くの人に伝わると思うので、ニュースを活用すると良い。 など

③ 学校の授業での学習が大切であることについて

- ・ 選挙について詳しく学習したり、政治と高校生がどのような関係にあるのかを教える授業があるとよい。
- ・ 学校でも模擬選挙をするとよい。
- ・ 義務教育の時点から、政治や選挙に関する授業を行うべきだと思う。 など

④ 若者向けの政策等の拡充について

- ・ 若者が興味を持つようなことを話題にするとよい。
- ・ 若者にメリットがあるような政策をもっと取り入れると関心を持つと思う。
- ・ 若者の意見が反映されやすい環境づくりをしてほしい。 など

II 学校ごとの実施状況

1 日本大学山形高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 5 月 10 日 (火) 14 時～15 時 30 分
開催場所	山形県議会南棟第 2 委員会室
出席議員	野川政文、渋間佳寿美、佐藤昇、島津良平、鈴木孝
参加生徒	日本大学山形高等学校生徒会役員等 26 人
意見交換の内容 (主なもの) <ul style="list-style-type: none">・ 若者の投票率を上げるための県の取組みについて・ 議員から見た若者の印象について・ 若者に対する県の支援について・ 18 歳の若者が選挙に行く際の留意点について・ 若者の政治に対する理解度を向上させるための県の取組みについて・ 議員にとっての仕事のやりがいについて・ 少子高齢化や親との同居について・ 山形での就職希望について・ 生徒会活動のために努力していることについて・ 政治家志望について など	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 議員と話し合える貴重な経験をすることができ、よかった。
- ・ 政治についてとてもいい勉強になった。
- ・ 意見交換の時間がもっとほしかった。
- ・ 意見交換会を今後も継続してほしい。
- ・ もっと視野を広げることが大切だと思った。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 意見交換会を増やしていくとよい。また、生徒会だけでなく学校単位など、もっと多くの生徒が参加するとよい。
- ・ 議員の方から学校に出向いて意見交換会を行うとよい。
- ・ インターネットを活用した PR が必要。
- ・ 学校の授業でしっかり学ぶことが大切である。
- ・ 屋外など開放的なスペースでの討論会などを行うとよい。 など

2 県立米沢商業高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 5 月 26 日 (木) 15 時 50 分～16 時 50 分
開催場所	県立米沢商業高等学校 物理多目的室
出席議員	船山現人、青木彰榮、能登淳一、石黒覚、志田英紀
参加生徒	商業研究部商業研究班 21 人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none">・ 生徒による菓子の商品開発を通じた地域おこしの取組みについて・ 若者に政治への関心を持ってもらうための県の対策について・ 若者向けの県議会広報について	

(2) アンケート結果

① 意見交換会に参加しての感想 (主なもの)

- ・ 自分たちの活動について、議員から多くの貴重な意見をもらった。商業研究班の商品開発の活動を発展させていくには、法律や条例をクリアする必要があるが、もっと幅広い活動ができると思った。
- ・ 政治について関心を持つことの大切さを感じた。
- ・ 政治や 18 歳選挙権についていろいろ知ることができた。
- ・ 議員を身近に感じられた。
- ・ 議員からの質問への答え方が難しかった。 など

② 生徒・学生等が県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ インターネットを活用した PR が必要。
- ・ 専門用語でなくわかりやすい言葉を使い、マンガやアニメでわかりやすくするとよい。
- ・ 若者が集まりそうな所で話をするのがよい。
- ・ 若者が興味を持つようなことを話題にするとよい。
- ・ 議員が学校に出向いて説明を行うのがよい。 など

3 山形市立商業高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 6 月 14 日 (火) 15 時 30 分～16 時 50 分
開催場所	山形県議会南棟第 2 委員会室
出席議員	野川政文、関徹、能登淳一、山科朝則、森谷仙一郎
参加生徒	生徒会役員 14 人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none">・ 選挙権年齢の 18 歳以上への引下げについて・ 県税の支出目的について・ 選挙での SNS 利用について・ 山形県の投票率について・ 高校生でも身近に感じられる政策について・ 選挙権年齢が引き下げられたことに伴い今後力を入れていく政策について・ 若い世代の投票率が低い原因について・ コンビニエンスストア等で投票が可能になった場合の投票行動について	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 議員と直接意見を交わす貴重な機会になった。疑問に思っていたことを直接質問することができてよかった。
- ・ 議員から、簡単な言葉でわかりやすく税の使い方や選挙に参加すべき理由などを説明してもらったため、理解しやすかった。
- ・ 今までより政治について理解できたし、関心を持つことができた。
- ・ 18 歳選挙権について多くのことを考えることができた。選挙権を得たら、立候補者の主張をきちんと理解して投票したい。
- ・ 高校生に身近な政策なども聞いてよかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 議員が講話などで学校を訪問するべき。
- ・ 選挙について詳しく学習したり、政治と高校生がどのような関係にあるのかを教える授業があるとよい。
- ・ 今回のような意見交換会を活発に行うべき。
- ・ 若者はテレビのニュースや新聞をみていないので、SNS を利用すべき。
- ・ 生徒向けのホームページを開設するべき。 など

4 山本学園高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 7 月 13 日 (水) 14 時 00 分～16 時 00 分
開催場所	山形県議会南棟第 1 会議室
出席議員	野川政文、渋間佳寿美、矢吹栄修、木村忠三、鈴木正法
参加生徒	生徒会執行部 10 人
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none">・ 道路の街灯の増設について・ 奥羽・羽越新幹線の実現について・ 少子高齢化に対する県の取組みや待機児童の状況について・ 県の私学助成の取組みについて・ 選挙権年齢引下げに伴い高校生に期待することについて・ 県外への就職・進学者を呼び戻すための県の取組みについて・ 若者が意欲的に政治参加するための県の取組みについて・ 税金の使い方について・ 非正規雇用や女性が働きやすい環境づくりのための県の対策について・ 学校で実施した模擬選挙と、実際に参議院選挙で投票してみたの感想について

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 議員と直接話ができ、また自分の意見が直接伝わっていることが感じられ、貴重な経験をすることができた。
- ・ 議員には、自分たちの質問に対して、現状と対策などを一つ一つ丁寧にわかりやすく答えていただき、とても勉強になり、政治に関心がもてるようになった。
- ・ 議員が、山形県をよりよくするため、たくさんの努力をしていることが伝わった。
- ・ 議員に対して堅いイメージがあったが、皆さん優しく、イメージが変わった。
- ・ 山形県では、どんな取組みをしていて、様々な問題を解決しようとしているかがわかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ SNSやインターネットを使うことができれば、もっと若い世代の関心が高まると思う。
- ・ 若者に、政治についてわかりやすく噛み砕いて教えてもらえるとよい。
- ・ 高校生自らが政治の仕組みを理解してから、見学をしたり、話を聞いたりするとよい。
- ・ 学校でも模擬選挙をしたり、授業で取り上げたりするとよい。
- ・ 今回のような意見交換会を行うとよい。 など

5 県立新庄神室産業高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 7 月 21 日 (木) 15 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	県立新庄神室産業高等学校 2 階 会議室
出席議員	船山現人、青柳安展、佐藤聡、小松伸也、佐藤藤彌
参加生徒	生徒会役員等 18 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ 新庄・最上地域と仙台をより短時間で結ぶ交通機関について・ 高校への最新の工業機械の整備について・ 県議会議員が普段から物事を考える視点について・ 政治資金問題について・ T P P 協定締結が本県農業に与える影響について・ 来年開催の南東北インターハイに向けた県の対応について・ 空き家問題への県の対応について・ 山形県全体を活性化させる施策の必要性について・ 高校生が興味を持つ政治のテーマについて・ 高校生が参議院選挙で投票した際の判断基準について など	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 議員に、自分の意見・質問に対して丁寧に答えていただきわかりやすかった。また、真剣に回答してもらいありがたかった。
- ・ 議員が、県をよくするために様々な政策を考え議会で話し合っていることが理解できた。
- ・ 議員には、最初は堅いイメージしかなくてとても緊張していたのだが、話が進むたびに政治に対する興味や関心が深まった。政治にかかわる大切さを知ることができた。
- ・ 議員ごとに様々な考えがあり、興味深かった。
- ・ 出ていなかった意見があり、少々時間が足りなかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 議員との意見交換の機会を増やしたり、意見交換会を学校全体で行ったらよい。
- ・ 生徒・学生に関係のある政策を作る。
- ・ 選挙に出る人の意見や政策を、より若者に伝えてほしい。
- ・ わかりやすい面白い内容が必要だと思う。
- ・ テレビや新聞などで大きく取り上げるとよい。 など

6 県立米沢東高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 9 月 6 日 (火) 15 時 10 分～15 時 55 分
開催場所	県立米沢東高等学校 2 階 会議室
出席議員	青木彰榮、矢吹栄修、島津良平、大内理加、平弘造
参加生徒	2 年生社会系ゼミ選択者 15 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ 県議会議員になったきっかけ、議員になる以前に就いていた職業について・ 高校生に期待することについて・ 本県や置賜地域に若い観光客を呼び込むための取組みについて・ 県議会議員が行っている地域貢献について・ 東北地方において本県が期待されている役割について・ 本県の財政が抱える課題について・ ひとり暮らし高齢者への支援について	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 県議会議員に任せるだけでなく、県民も協力しなければいけないと感じた。
- ・ 質問に対してすぐに的確な答えが返ってきて、とても勉強になり、自分自身もとても楽しかった。
- ・ 質問に対し議員が親切、丁寧な答えてくれたので、県に対する思いがとても伝わってきた。
- ・ 質問に対してもう少しストレートに答えてほしかった。
- ・ 物事の考え方や政治についての新しい知識となることがたくさんあり、本当に勉強になった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 今回のような学生と県議会議員との意見交換の機会がより多く設けられたらいいと思う。
- ・ 県議会を実際に見学して、仕事の体験などがあると、身近に感じるようになると思う。
- ・ 選挙で投票する場所に実際に行ってみたい。

7 県立山形盲学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 9 月 9 日 (金) 13 時 30 分～14 時 30 分
開催場所	山形県議会南棟 2 階 第 1 会議室
出席議員	野川政文、山科朝則、島津良平、吉村和武、金澤忠一
参加生徒	高等部普通科 5 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ 本県の財政状況について・ 障がい者に対する本県の施策について・ 蔵王駅から山形聾学校寄宿舎までの通学路への点字ブロック設置について・ 本県の予算編成、使い方について・ 議員になったきっかけや、議員になって大変なこと、良かったことについて・ 車椅子で快適に外出するための環境整備について・ 定例会の開催期間や本会議・委員会の開催時間、人数等について・ 若者の投票を促進するための対策について・ 視覚障がい者の投票方法について・ 議員になる方法について など	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 議員さんに点字使用者の投票について考えて頂いてよかった。ぜひ、盲学校にいらして、見学・体験をしてもらいたいです。
- ・ 教科書には載っていない、山形県の予算についてお聞きすることができて良かったです。
- ・ 自分の言葉で、質問や要望を言うことができて良かったです。
- ・ 障がい者に対しての政策についての質問では、障がいのある人もない人も平等に暮らそうという条例があり、とてもうれしかったです。
- ・ 以前は政治は難しいものと思っていましたが、交流会後は政治に対して興味を持つことができました。

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 堅苦しくなく、アットホームな交流会をどんどんしていくといいと思う。
- ・ 議場の見学もとても良かったです。直接議員さんが学校に来て話ができると良いと思います。
- ・ 言葉なども柔らかくわかりやすくモードチェンジするといいと思います。
- ・ 自分の住んでいる市町村や県の政策や政治、財政などについてどんなことが行われているのか、どんな状況なのか触れる機会を多くしていくことで、興味や関心を高めることができると思います。それぞれの取組みについてもっと情報を発信してもらいたいです。

8 県立新庄南高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 9 月 13 日 (火) 14 時 25 分～15 時 15 分
開催場所	県立新庄南高等学校 体育館
出席議員	船山現人、青柳安展、佐藤聡、伊藤重成、田澤伸一
参加生徒	2・3 年生 150 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ 若者の一票が政治に与える影響について・ 最上地域への高等教育機関の設立について・ 鉄道の駅が無い金山町の活性化について・ 県議会議員になる方法について・ 新庄南高等学校・新庄北高等学校の校舎の老朽化への対応について・ コンビニエンスストアの誘致について・ 本県の貧困対策について・ 県議会議員になって難しいと感じることについて・ 地元就職するメリットについて・ 平成 29 年度南東北インターハイについて	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 自分たちの疑問を分かりやすく説明してもらえたので、とてもためになった。
- ・ 選挙に行き、積極的に政治に参加したいと思った。
- ・ 実施する前より県議会議員のイメージをつかめるようになった。
- ・ 山形県を良くするために議員が頑張っているのがわかった。
- ・ 女性の議員が参加してくれたら、もう少し女子生徒の発言が促されたのではないかなと思う。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 今回のような講話を続けていけばいいと思う。
- ・ いつ、どんな活動をしているのか分かるように、インターネットや SNS を使ってたくさん発信する。
- ・ 選挙の投票の仕方を実際に体験する機会がほしい。
- ・ 自分が何かしても変わらないと思っている人が多いと思うので、投票するメリットを前面に出してほしい。
- ・ 学校への積極的な訪問がよいと思う。 など

9 専門学校山形V. カレッジ

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 9 月 28 日 (水) 13 時 30 分～15 時 00 分
開催場所	山形県議会南棟 2 階 第 1 会議室
出席議員	野川政文、青木彰榮、矢吹栄修、加賀正和、後藤源
参加学生	学生 9 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ 若手議員を増やすための取組みについて・ 被選挙権年齢の引き下げについて・ 成人年齢の引き下げについて・ 議員の政策理解のために有効な媒体 (HP、SNS、動画) 等について・ インターネット投票について・ 県議会議員になったきっかけ、議員になる以前に就いていた職業について・ 本県議会の女性議員が少ないことについて・ 若者の意見を政治に反映させるための取組みについて・ 若者の県内定住促進のための戦略について・ 県外からの移住促進のための取組みについて	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 実際に県議会がどうなっているのか分からなかったので、疑問が解消した。
- ・ 18歳選挙権や被選挙権についての話が聞けて勉強になった。
- ・ 自分の意見や知りたいことを県議会議員に直接伝えることができよかった。
- ・ とてもいい経験になった。これからも選挙に参加して政治に参加していきたい。
- ・ 意見交換会を通じてもっと政治に興味、関心を持ちたいと感じた。
など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 若者との交流の機会を増やしてもっと身近に感じられる議会になれば、私たちもとっつきにくいイメージを払しょくできると考える。
- ・ ホームページやSNSを利用して呼びかけを行うべきと思う。
- ・ 県議会の活動の内容を知ることができる機会が増えたらいいと思った。
- ・ HPの活用
- ・ インターネットを使う。 など

10 鶴岡東高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 10 月 17 日 (月) 15 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	鶴岡東高等学校 会議室
出席議員	野川政文、能登淳一、山科朝則、菊池文昭、森田廣
参加生徒	生徒会役員他 18 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ Uターンを希望する若者に有益な政策について・ 若者に身につけてほしいスキルについて・ 若者が活躍できる雇用環境の整備について・ 若者の政治意識を高めるための取組みについて・ 投票率向上のための取組みについて・ 子育て支援の具体的な内容と成果について・ TPP 協定締結が本県農業に与える影響について・ 県民の地域文化に対する理解促進のための取組みについて・ 投票する際の判断基準について・ 私学教育に対する支援について など	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ TPPの問題や観光誘客への取り組みなど、詳しい政策などを知ることができてよかった。
- ・ 県議会議員の方々も県や私たち私学のことを考えていることが知れてよかった。
- ・ 時間が少し短かったので、長い時間意見交換、討論できたら、より良いと思う。
- ・ 質問に対して議員の答えを間近で聞けて、政治に関心を持つきっかけになったと思う。
- ・ 意見交換して自分たちの素直な疑問などを聞くことができてよかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 若者向け政策の実施。
- ・ 授業に投票の時間を設けたり、小さい頃から政治と触れ合うなどの取組み。
- ・ 議会をはじめとした政治に関わる方の講演会の開催、広報での議会の様子の報告など、気軽に政治に関われるような機会づくりをしてほしい。
- ・ 若いリーダーが増えれば若者も親近感を感じる。
- ・ 意見交換みたいな場を積極的に増やしていくべきだと思う。 など

1 1 県立保健医療大学

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 10 月 25 日 (火) 16 時 20 分～17 時 50 分
開催場所	県立保健医療大学 201 会議室
出席議員	船山現人、佐藤聡、能登淳一、石黒覚、坂本貴美雄
参加学生	学生 19 人
意見交換の内容 (主なもの)	
<ul style="list-style-type: none">・ 出産に対する県の支援策について・ 若者の意見を政治に反映させるための取組みについて・ 選挙に立候補する際に必要になる選挙費用について・ 若者の投票が政治に与える影響について・ 選挙権年齢が 18 歳以上まで引き下げられた理由について・ 県内の医療提供体制の地域格差と地域医療構想について・ 県内で就職することのメリットについて・ 地域包括ケアシステム構築に対する本県の取組みについて・ 少子化対策について	

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 山形県の医療について意見が聞くことができ、今の山形県の現状を再認識できたし、これからの山形県の医療について考える際の参考になると思った。
- ・ 全ての質問に的確に答えてもらったので、とても有意義な時間になった。
- ・ 政治について身近に感じることができた。
- ・ 私たちが投票に行くことで、今まで老人に目を向けていた政治家が若者の意見を聞いて若者に向けた政策も増えるということを知り、もっとみんなが投票に行くべきだと思った。
- ・ 議員の方が思っていたよりフレンドリーだった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ ニュースが一番情報を得やすく、多くの人に伝わると思うので、ニュースを活用するとよい。
- ・ 授業で選挙についての時間をとる。
- ・ このような機会を増やしたり、宣伝等に力を入れてほしい。
- ・ 立候補者の気持ちをもっとわかりやすくなるように表してほしい。
- ・ 年に何回か、大学や高校で話をしてもらったり、今回のような会議を設ける。 など

1 2 県立山形南高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 10 月 27 日 (木) 15 時 30 分～17 時 00 分
開催場所	山形県議会南棟 2 回 第 1 会議室
出席議員	舩山現人、青木彰榮、渋間佳寿美、柴田正人、星川純一
参加生徒	生徒会役員等 18 人
	<ul style="list-style-type: none">・ 政策を伝えるための SNS 活用について・ 若者が投票するメリットについて・ 若者が議会に意見を届ける方法について・ 選挙の棄権に対して罰則を設けることについて・ 県政の PR 方法について・ 生徒議会の開催及び生徒会からの政策提言について・ さらなる選挙権年齢の引き下げについて・ 県議会議員による高校での出張講義等の実施について・ 参議院議員選挙での年代別投票率について・ 若者向け政策の充実について など

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 若者が選挙に参加することのメリット、デメリットや、投票率を上げるために県が行っている取組みについて初めて知ることが多くあったのでとても勉強になった。
- ・ 質問や意見に対して、丁寧に深く説明してもらいとても分かりやすかった。
- ・ 議員の陰でのがんばりを感じられてよかった。若者の政治参加をよりよくするために何をすべきかを考えられてよかった。
- ・ なかなかない機会で、新しい発見や考え方に触れることができたのでとてもいい経験になった。
- ・ 自分たちの意見に分かりやすく丁寧に答えてもらい、とても嬉しかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 意見交換会などを増やしたり、学校に行って話をしてもらう。
- ・ 小学生の頃から政治に関しての授業を盛り込んでいけば、さらに政治への参加につながると思う。
- ・ 積極的に SNS を活用し、情報を身近に感じてもらえるようにすること。
- ・ 若者にメリットがあるような政策をもっと取り入れると関心を持つと思う。
- ・ 会社、もしくは市町村などと連携して投票を推進する講演を行えばよいと思った。 など

1 3 東北公益文科大学

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 11 月 4 日 (金) 14 時 40 分～16 時 10 分
開催場所	東北公益文科大学酒田キャンパス 教育研究棟 104 教室
出席議員	青柳安展、山科朝則、奥山誠治、阿部信矢
参加学生	学生 13 人
	<ul style="list-style-type: none">・ 看護師、介護職員の人材不足に対する本県の取組みについて・ 主権者教育について・ 投票手続きの簡素化について・ 20 代と 70 代の投票率に差がつく要因について・ 若者の投票の必要性について・ 学生運動の沈静化が現在の若者の政治離れに与えた影響について・ 奥羽・羽越新幹線の実現について・ テレビ報道が若者の政治参加に与える影響について・ 若い世代の国会議員を増やすための選挙制度や社会のあり方について・ 若者の政治に対する期待について など

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 意見交換会に初めて出席したが、想像よりも和やかな雰囲気で行われていたので、学生側も質問しやすかった。
- ・ 自分の意見を言える非常にいい機会になった。
- ・ 20 代の投票率の低さについて、県議会議員の方々の貴重な意見や、同じ大学生の自分とは違う考え方に触れる機会をいただけてよかった。
- ・ 1 時間では少ししか話せないのもう少し長いと議論ができると思った。
- ・ 県議会議員の考えが聞ける機会は貴重だった。県内各所でこのような機会が増えればと思う。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 今回のような機会を増やし、テーマ毎の意見交換がいいと思う。
- ・ 義務教育の時点から、政治や選挙に関する授業を行うべきだと思う。
- ・ 若者の意見が反映されやすい環境づくりをしてほしい。
- ・ 今よりも多くの大学や中高の学校でセミナーを開いていけたら、より身近に感じることができると思った。
- ・ 若者に魅力的な課題を提案する。 など

1 4 九里学園高等学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 11 月 15 日 (火) 14 時 15 分～15 時 05 分
開催場所	九里学園高等学校 多目的ホール
出席議員	船山現人、青柳安展、島津良平、榎津博士、高橋啓介
参加生徒	3 年生 149 人
	<ul style="list-style-type: none">・ 教育山形「さんさん」プランの今後のあり方について・ アメリカ大統領選挙の結果を踏まえた T P P 協定締結に関する県議会の対応について・ 草木塔など、米沢市の歴史的遺産の P R について・ つや姫の P R イベント等の開催について・ やまがた森林ノミクスの取組みについて・ 高齢者の運転事故防止対策について・ 本県の高齢者介護施設の不足について・ 環境問題に対する本県の取組みについて・ 若者人口の県外流出に対する本県の取組みについて・ ふるさと納税の活用方法と地域間格差の問題について など

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 議員は山形をもっと良くしていくために、いろんなところで努力していることがわかりよかった。
- ・ 生徒が意見したことについてしっかり実施してほしい。
- ・ 分かることもあれば理解できなかったところもあった。
- ・ 議員が一つひとつ丁寧に回答してくれたのでよかった。
- ・ 県が様々な取組みをしていることが分かりよかった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ 意見交換会の頻度を増やす。
- ・ 政治について授業に取り入れる。
- ・ 難しい言葉でなく、アニメや漫画など絵を使って分かりやすくしてほしい。
- ・ CMなどで P R する。
- ・ 携帯電話やスマートフォンなどを使い情報発信する。 など

15 農林大学校

(1) 概要

開催日時	平成 28 年 11 月 28 日 (月) 15 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	農林大学校 研修施設「緑風館」
出席議員	野川政文、渋間佳寿美、佐藤聡、金子敏明、小野幸作
参加学生	学生 109 人
	<ul style="list-style-type: none">・ 農林大学校学生会の投票率向上に向けた取組みについて・ インターネット投票について・ 若者への政策の周知方法について・ 国会、県議会、市町村議会の役割分担について・ 農業の 6 次産業化のための取組みについて・ アメリカ大統領選挙の結果を踏まえた T P P 協定締結に関する県議会の対応について・ 林業の活性化のための取組みについて・ 若者の県内定着に向けた取組みについて

(2) アンケート結果

① 意見交換会を実施しての感想 (主なもの)

- ・ 高齢者だけが関わるのではなく、若い人がより多く関わるのが大切だと思った。
- ・ 今回の意見交換会をきっかけに、県議会への関心も高まった。
- ・ 学生が一人一人疑問に思っていることに対して、一つ一つ丁寧に答えて下さり、とても勉強になる意見交換会だった。
- ・ 選挙、6 次産業化、農林業について、今現在行っていることやこれから行く予定についてわかりやすく説明していただいた。
- ・ 県議会議員の方々と話をする機会はめったにないので、とても有意義な時間になった。 など

② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案 (主なもの)

- ・ インターネットで政治についてもっと簡潔にまとめるべきであり、(アニメのキャラクターなどを使用して) 若者に注目させるべきだと思う。
- ・ 若者向けの政策を取り入れると、若者の関心が増すと思う。
- ・ 学校の授業に取り入れればよいと思う。
- ・ 今回のような県議会議員の方との交流を増やしていくとよいと思う。
- ・ 仕事の内容、マニフェストをもっと細かく説明してもらえると、関心を高められると思う。 など

